

中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人子ども未来ネットワーク
代表者名	渡部万里子
申請事業名 主題	オンライン化プロジェクト
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【鳥取県】 子ども・若者・家庭支援
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 【分野】 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 【その他】 子どもの心の安定を育む支援
申請事業の概要	新型コロナウイルスの影響で今まで通りの活動方法を控えなくてはならない現在、不安を感じる方にも当団体の活動を発信していく為に、オンラインの環境を整備する必要がある。舞台芸術、メディア講座、アナログゲームを自宅などでオンラインで観ることを可能にして、情報発信の範囲を広げる。また、分身ロボット OriHime を活用することにより、今まで病気などで参加することができなかった子どもたちが参加できる機会をつくる。そして、新型コロナウイルスが終息した時には、再び生の舞台や講座、一緒にアナログゲームを体験するという、人との繋がりを大切に活動再開することと、オンラインの良さを生かした活動も続けていく。
事業実施地域	鳥取県
申請事業期間	2020 年 10 月～2021 年 9 月
申請助成額	1,791,600 円 【内訳】直接事業費 1,605,600 円、管理的経費 186,000 円

■ 審査コメント

- ✓ 教育文化は結果が見えにくく、どうしても後回しにされてします。
- ✓ 分身ロボットを活用したチャレンジ、応援したい。
- ✓ 養護施設や病気の子どもたちへアートを届ける活動、評価したいし期待している。
- ✓ この取り組みが、with コロナのなかで、どういった成果があがるかは、同様の課題に対する横展開を考える上での試金石になる大切な取り組みと感じた。
- ✓ 病気療養の子どもたちへの支援が、デジタルシフトしていくことは大切な取り組みで、「OriHime」を活用することにも可能性を感じる。期待したい。
- ✓ 他の委員の皆さんのお話を聞いていると、可能性を感じてきた。評価が上がった。
- ✓ 鳥取県内の子ども・子育て支援分野では抜群の活動実績がある。
- ✓ 事務力もしっかりしており、信頼できる団体。
- ✓ 歴史の長い NPO 法人であり、子ども子育ての活動を地域に根差して活動してきた信頼のおける NPO 法人である。新型コロナウイルスの影響で大きな影響を受け、従来の活動が難しい中、オンラインの導入などを通して継続して事業を続けていく強い熱意を感じる。
- ✓ OriHime の導入など新しい挑戦にも取り組もうとしている姿勢が高く評価できる。